



中部電力

資料 3

浜岡原子力発電所の状況について

2025年11月12日

INDEX

- 1 浜岡原子力発電所の状況**
- 2 3, 4号機 適合性確認審査の状況**
- 3 1, 2号機 廃止措置の状況**

1 浜岡原子力発電所の状況

1号機

2号機

廃止措置中
(2009.1.30運転終了)

2015.2 燃料搬出 完了
現在、原子炉領域周辺設備および
原子炉領域解体中

※ 2024.12.25 第3段階（原子炉領域解体撤去期間）へ移行

3号機

4号機

安全性向上対策実施中

新規制基準への適合性確認審査
(2015.6.16 申請) (2014.2.14 申請*)

※ 2015.1.26 使用済燃料乾式貯蔵施設に係る記載を追加するため申請を取り下げ、
同日再申請を実施

5号機

安全性向上対策実施中
新規制基準への適合性確認審査
申請準備中



使用済燃料乾式貯蔵施設

設置変更許可申請審査
(2015.1.26申請*)

※ 「4号機新規制基準適合性確認審査
に係る発電用原子炉設置変更許可
申請書」に追記

2 3, 4号機 適合性確認審査の状況

適合性確認審査の流れと各社の状況

加圧水型 (PWR)

沸騰水型 (BWR)



(未申請)

浜岡5
(中部)

女川3
(東北)

志賀1
(北陸)

敦賀2※2
(日本原電)

同社・他号炉を優先

泊1,2
(北海道)

志賀2
(北陸)
大間
(Jパワー)

基準地震動
基準津波確定

設置許可

設計・工事認可

再稼働

浜岡3※1
(中部)

浜岡4※1
(中部)

島根3 (中国)
東通1 (東北)

泊3
(北海道)

東海第二
(日本原電)
柏崎・刈羽6,7
(東京)

川内1,2
玄海3,4
(九州)

高浜1~4
大飯3,4

美浜3
(関西)

伊方3
(四国)

※1
地質・地質構造の審
査を並行して実施

事業者からの許認可申請

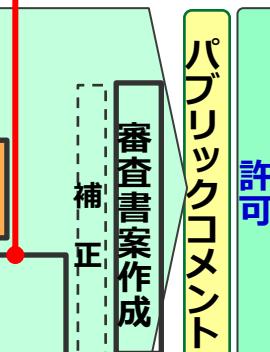
原子炉設置変更許可の審査
(設備の基本設計や方針を審査)

地震・津波の審査

プラント施設の審査

設計及び工事の計画認可の審査
(設備の詳細設計を審査)

保安規定変更認可の審査
(運転管理を審査)

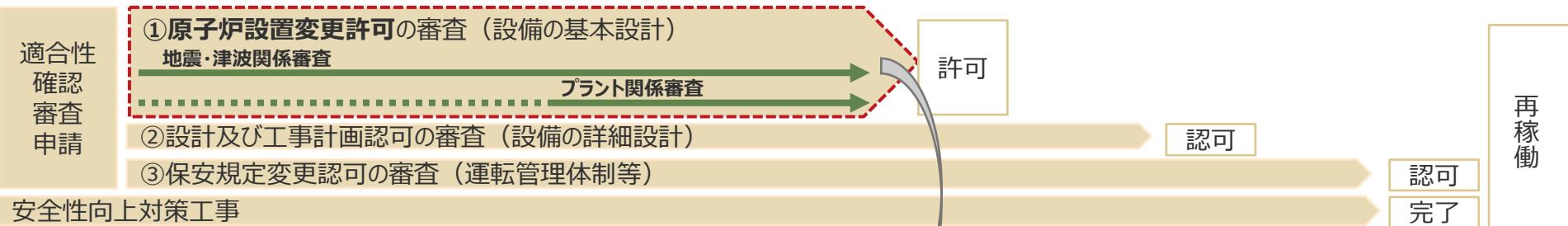


安全性向上対策工事

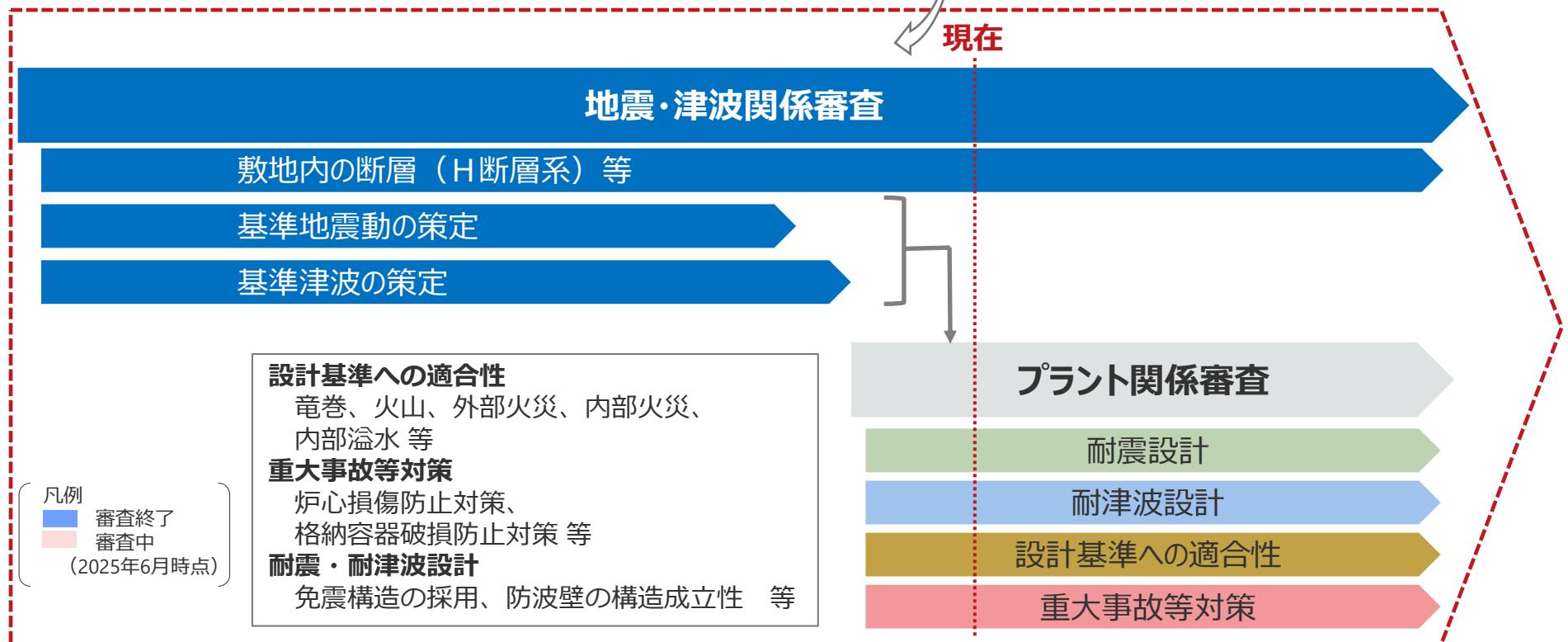
新規制基準適合性に係る審査スケジュール



審査の流れ



原子炉設置変更許可の主な審査項目と進捗状況



プラントに関する主な審査項目(1/4) (2025年10月17日現在)



		主な審査項目	説明開始	直近の審査会合	
				開催日	指摘事項
耐震設計	耐震設計の基本方針	● 各施設の耐震重要度分類に応じて設定した耐震設計の基本方針	2025/1/10		
	Ss1、Ss2の適用方針	● 基準地震動Ss1（増幅を考慮しない地震動）および基準地震動Ss2（増幅を考慮した地震動）の各施設への適用方針	2025/1/10	2025/5/22	なし
	建物・構築物	● 建物・構築物の耐震安全性評価方針 (精緻化した解析モデルを適用)	2025/1/20	2025/4/10	なし
		● 免震構造採用に係る検討方針、免震審査ガイドへの適合性	2025/1/31	2025/9/18	なし
	屋外重要土木構造物	● 屋外重要土木構造物の耐震安全性評価方針 (精緻化した解析手法を適用)	2025/4/4	2025/7/31	あり
		● 敷地の液状化による構造物への影響の検討方針	2025/1/17	2025/3/18	なし
		● 耐震評価における構造物の評価対象断面の選定方針	2025/1/24	2025/3/18	なし
	機器・配管系	● 機器または配管の耐震安全性評価方針	2025/2/7		
	共通	● 施設の耐震設計に用いる地下水位の設定方針	2025/1/17	2025/3/18	なし
		● 設定した地下水位に維持するための低下設備の機能	2025/2/7		
		● 水平2方向および鉛直方向地震力の組合せによる評価方針	2025/6/23		
		● 耐震重要度分類の上位クラス施設に対する下位クラス施設の波及的影響の評価方針	2025/5/26		
		● 地震による荷重と重大事故等時に作用する荷重の組合せの評価方針	2025/10/3		

プラントに関する主な審査項目(2/4)

(2025年10月17日現在)



主な審査項目			説明開始	直近の審査会合	
				開催日	指摘事項
耐津波設計	基本事項	● 津波防護対象の選定、入力津波の設定 等	2025/5/12	2025/9/18	なし*
	津波防護方針・施設 (外郭防護)	● 設計基準対象施設、重大事故等対処施設の津波防護方針 (敷地への流入防止、漏水による必要な機能への影響防止)	2025/5/19	2025/9/18	なし*
	津波防護方針・施設 (内郭防護)	● 設計基準対象施設、重大事故等対処施設の津波防護方針 (必要な機能を有する施設の隔離)	2025/5/26	2025/8/28	なし
	取水性確保に係る方針	● 水位変動に伴う取水性低下による必要な機能への影響防止	2025/5/23	2025/8/28	あり
	津波監視に係る方針	● 津波監視設備の設計方針 等	2025/5/30	2025/8/28	なし
津波防護施設の設計方針	取放水路からの流入防止	● 取水槽溢水防止壁の設計方針 等	2025/6/2	2025/10/16	あり
	防波壁の構造成立性	● 防波壁設計方針、構造成立性評価結果 等	2025/6/6	2025/9/18	あり
超過津波対策	基本事項	● 超過津波に対する防護対象設備の選定 ● 超過津波による入力津波の設定 等	2025/9/12	2025/10/16	あり
	津波防護方針	● 超過津波に対する防護対象設備の津波防護方針	2025/9/12	2025/10/16	あり
	防護対象設備等	● 超過津波に対する防護対象設備等の設計・評価の方針および条件	2025/9/12	2025/10/16	あり
	漂流物影響評価	● 漂流物影響評価（敷地内）の妥当性	2025/9/12	2025/10/16	あり
	防波壁の構造成立性	● 超過津波に対する防波壁耐力	2025/9/12	2025/10/16	あり

* : 未説明項目（指摘事項）あり

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

プラントに関する主な審査項目(3/4)

(2025年10月17日現在)



		主な審査項目	説明開始	直近の審査会合	
				開催日	指摘事項
設計基準 (D B)	竜巻	● 立地地域の特性等を考慮した竜巻規模（設計で想定する竜巻）の設定 ● 設計で想定する竜巻による荷重に対する安全機能の防護方針	2025/1/29	2025/10/16	あり**
	火山（対策）	● 設計で想定する火山事象（火山灰の堆積 等）に対する安全機能の防護方針			
	外部火災	● 設計で想定する森林火災、近隣の工場等の火災・爆発、航空機墜落による火災等に対する安全機能の防護方針	2025/4/2	2025/7/31	なし
	その他外部事象	● 設計で想定するその他自然現象・人為事象（落雷、積雪、航空機落下 等）に対する安全機能の防護方針	2025/5/21	2025/7/31	なし
	内部火災	● 設計基準対象施設の火災防護方針（発生防止、感知・消火、影響軽減）	2025/1/23	2025/9/18	あり
	内部溢水	● 設計で想定する溢水に対する安全機能の防護方針 (地震等による機器・配管の破損による水の流出、消火水の放水 等)	2025/3/5	2025/9/18	なし
	使用済燃料 乾式貯蔵施設	● 使用済燃料乾式貯蔵施設の遮へい性能、除熱性能、閉込め性能 等	2025/3/12	2025/8/28	なし
	その他	● 静的機器の单一故障を想定した場合の安全機能の確保 ● 使用済燃料貯蔵施設に対する重量物の落下対策、監視機能の確保 ● 安全保護回路への不正アクセス防止、外部からの送電系統の独立性確保 等	2025/2/5	2025/8/28	あり
S A / D B 共通	制御室	● 原子炉施設外の状況把握、酸素濃度計の設置 ● 重大事故等発生時の運転員の居住性確保 等	2025/10/8		
	緊急時対策所	● 制御室との独立性、重大事故等対処に必要な要員の収容能力、活動拠点として必要な設備・資機材の設置、重大事故等発生時の要員の居住性確保 等	2025/8/19		
	有毒ガス防護	● 有毒ガス発生時の運転員および緊急事態対策要員の防護			
	その他	● 通常運転時、事故時等における放射線および気象条件の監視・測定・記録 ● 発電所内外との通信連絡 等	2025/7/29	2025/9/18	あり

** : 9/5発生の牧之原市・竜巻の設計影響について指摘があり、ステータス変更（概ね審査済→審査中）

プラントに関する主な審査項目(4/4)

(2025年10月17日現在)



主な審査項目		説明開始	直近の審査会合	
			開催日	指摘事項
重大事故等対策 (SA)	確率論的リスク評価	● 重大事故等の発生頻度とその影響の定量的な評価結果	2025/1/9	2025/10/16 あり
	シーケンス選定	● 重大事故等対策の有効性評価において想定する事故シナリオ（シーケンス）の選定結果	2025/1/22	2025/10/16 あり
	炉心損傷防止	● 想定した各事故シナリオにおける重大事故等対策（設備、体制・運用手順）の有効性	2025/2/4	2025/10/16 あり
	格納容器破損防止		2025/8/8	2025/10/16 なし*
	燃料損傷防止 (燃料プール)		2025/9/22	
	燃料損傷防止 (停止中原子炉)		2025/9/22	
	大規模損壊	● テロや大規模な自然災害等による原子炉施設の大規模な損壊への対応（体制、手順、設備の整備）		
	共通事項	● 重大事故等対策全般の共通事項（環境条件、荷重条件、操作性、試験・検査、切替えの容易性、他の設備への悪影響防止、現場の作業環境、支援 等）	2025/10/15	
	重大事故等対処設備 (SA設備)	● 重大事故等のハード対策（注水設備、減圧設備、水源・電源・計測設備等の設置）	2025/2/26	2025/10/16 あり
	技術的能力（体制・手順）	● 重大事故等のソフト対策（体制の整備、手順書の整備、訓練の実施）	2025/4/8	2025/10/16 なし*
	原子炉建屋水素対策	● 炉心損傷時における水素爆発による原子炉建屋の損傷防止対策（水素濃度制御設備／水素排出設備、水素濃度監視設備の整備）	2025/8/20	
	保管場所・アクセスルート	● 重大事故等の対処や復旧に必要なアクセスルートの確保 ● 可搬型重大事故等対処設備や資機材の保管場所の確保	2025/9/10	

* : 未説明項目あり

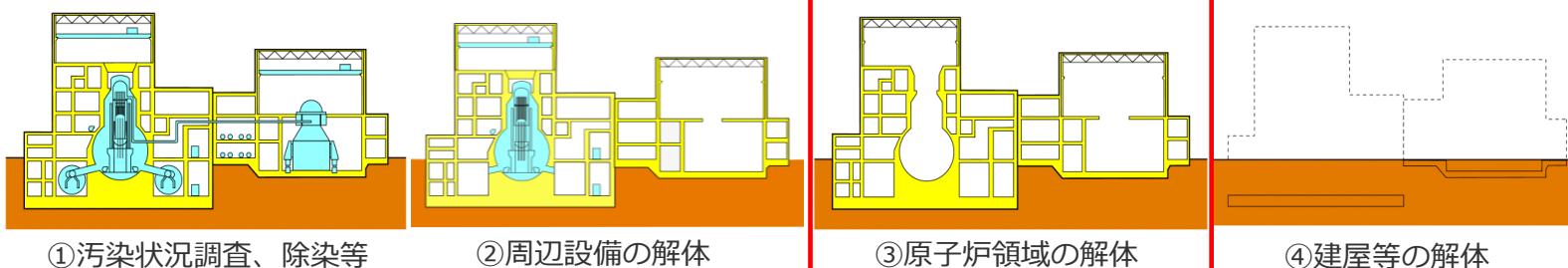
3 1, 2号機 廃止措置の状況

1, 2号機 廃止措置



1,2号機の廃止措置計画は、以下の4段階に分け、約34年という年月をかけて実施します。

2024年12月より第3段階に入り、現在、商業用軽水炉では国内初となる原子炉領域の解体を行っています。



第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
解体工事準備着手	原子炉領域周辺設備 解体撤去着手	原子炉領域 解体撤去着手	建屋等 解体撤去着手
2009年度～	2015年度～	2024年度～	2036年度～
使用済燃料搬出完了（2014年2月） ▼ 燃料搬出	▼ 新燃料搬出完了（2015年2月）		完了目標 (2042年度)
汚染状況の調査・検討			
系統除染			
放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去			
	原子炉領域周辺設備解体撤去		
		原子炉領域解体撤去	
			建屋等解体撤去
放射性廃棄物の処理処分（運転中廃棄物又は解体廃棄物）			

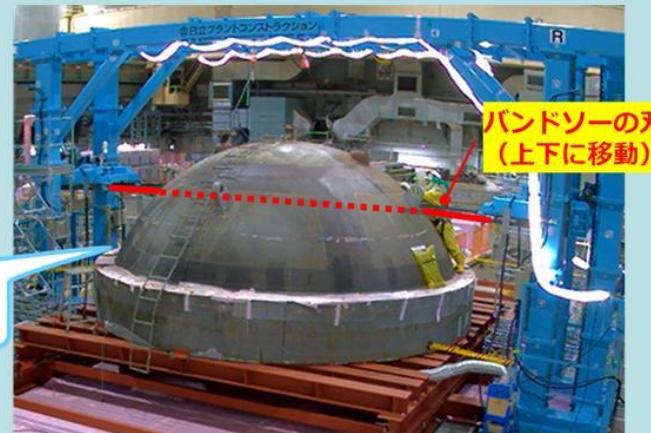
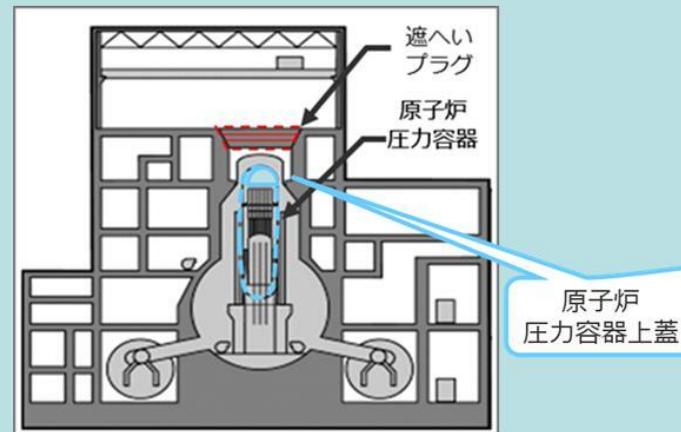
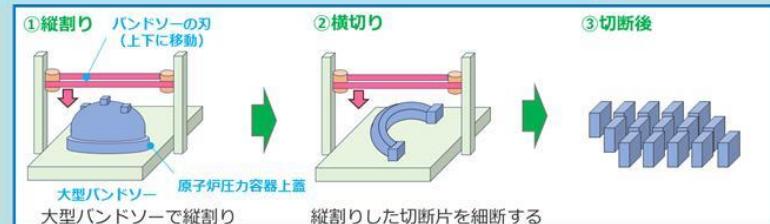
浜岡2号機を実証プラントとするNuROパワーポットプロジェクト

中部電力

今後、国内の原子力発電所において、運転を終了した原子炉の解体工事が増加します。このため、NuRO※が中心となり原子力事業者やメーカーが連携して、安全性を最優先とした円滑かつ合理的な原子炉の解体工法を構築するパイロットプロジェクトを実施します。当社は、NuRO等に協力し、国内初の商業用原子炉の解体工事に着手した浜岡2号機を実証プラントとして、本プロジェクトを進めてまいります。

2025年3月より浜岡2号機の原子炉領域（原子炉圧力容器上蓋）の解体撤去工事を開始しています。

浜岡2号機原子炉圧力容器上蓋解体



※NuRO(使用済燃料再処理・廃炉推進機構)

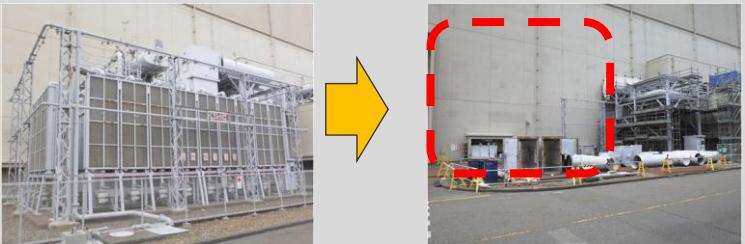
廃炉推進業務として日本全体の廃止措置の総合的なマネジメントを担うとともに、廃止措置に係る原子力事業者共通課題への対応や資金の確保・管理・支払をおこないます

<参考> 1,2号機の解体撤去工事の現場状況

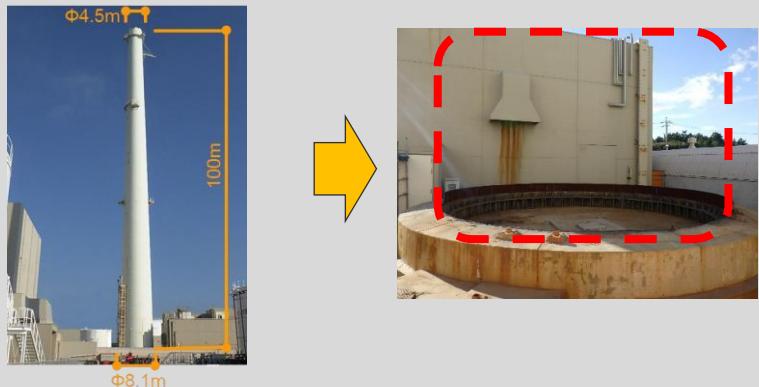


放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去

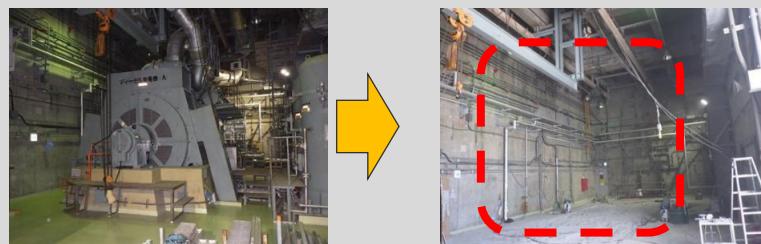
- 2号機主要変圧器解体（屋外）



- 1,2号機共用排気筒（屋外）

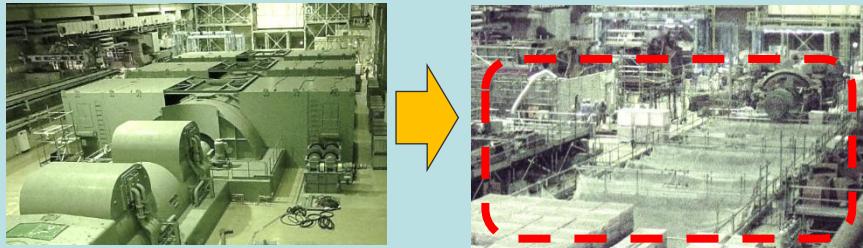


- 1号機非常用ディーゼル発電機解体（原子炉建屋内）

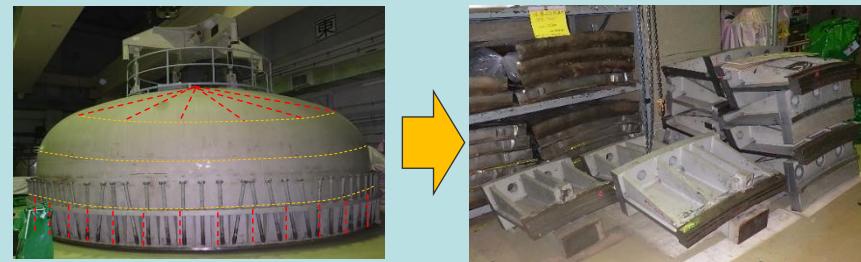


放射線管理区域内の設備・機器の解体撤去

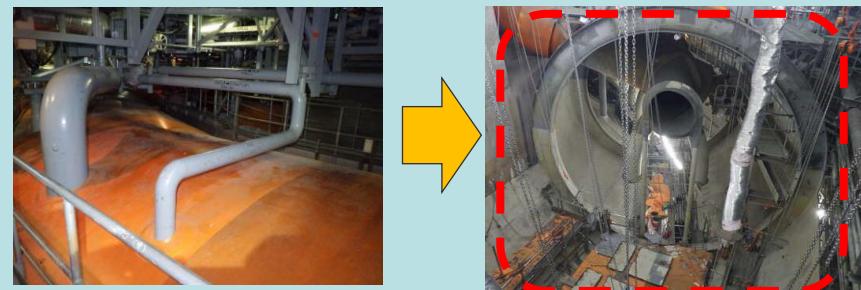
- 2号機主タービン・発電機解体（タービン建屋内）



- 1号機格納容器上蓋（原子炉建屋内）



- 2号機サプレッションチェンバ撤去（原子炉建屋内）



1, 2号機 廃止措置における解体廃棄物の発生量



- 1, 2号機の解体廃棄物について、以下の3種類に分類し、適切に処分します。
- 当社は、循環型社会の実現を目指し、「放射性廃棄物でない廃棄物」はもちろんのこと、クリアランス物についても制度を活用し、資源としての再利用を進めてまいります。

放射性廃棄物でない廃棄物

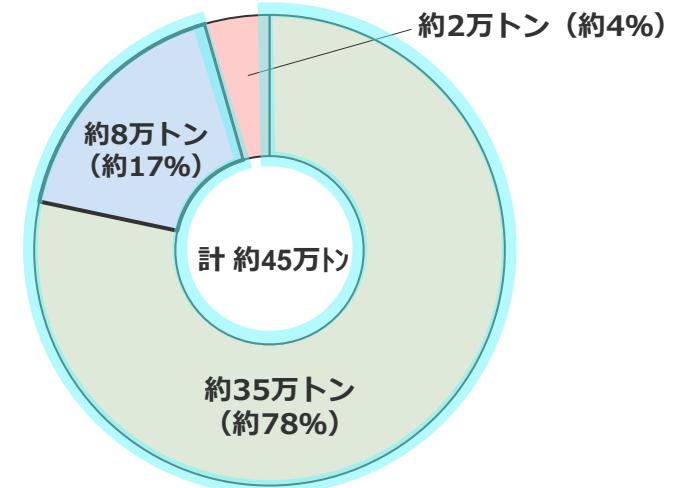
屋外を含む放射線管理区域外の設備や放射線管理区域内の設備で汚染がないことを確認したもので、再利用または産業廃棄物として処分（再利用実績：約520トン[2025年6月末現在]）

放射性物質として扱う必要がないもの (クリアランス物)

放射能濃度が極めて低く、国の確認を得て、
再利用または産業廃棄物として処分

低レベル放射性廃棄物

放射性廃棄物として処分



1, 2号機の解体にともなって発生するもの

- 今後も、安全最優先で、浜岡原子力発電所の運営に努めてまいります。
- また、地域のみなさまからいただいた声に丁寧にお応えし、みなさまに信頼いただける発電所を目指してまいります。